

2011 2.10

26号

みんなの流山



市政ニュース

発行 政治団体「みんなの流山」(政治コードNO.350500)
代表 土屋善雄
事務所 270-0135 千葉県流山市野々下4-1005-2 FAX.04-7145-2003
URL <http://www.min-naga.com/> eメール info@min-naga.com

「みんなの流山」推薦候補決定!!

「みんなの流山」では広く会員の中から市議会議員立候補予定者を公募し、役員会で書類審査・面接を行い厳選の上、下記5名の方を推薦することを機関決定しました。ここに、推薦する候補予定者のプロフィール・政策について紹介します。(順不同)
なお、この5名の方は、そろって、昨年の市議会議員定数削減の署名運動に積極的に参加されました。

藤井としゆき(現)

S35年生 西初石



1. 住んで良かったと言える流山市を目指し、更なる行財政改革・議会改革を進め、新たな政策提案を積極的に行います。
2. 高齢者や障がい者・子ども達等の弱者に対する支援策を提案します。
3. 市民参加による良好なまちづくりを支援します。
4. 市民に密接にかかわる民主党議員として、あらゆる機会を活用し、市民の声を県政や国政へ反映させるように活動します。

酒井むつお(現)

S17年生 駒台



1. 民間の厳しい目ですべてを具体的に見直します。行政も議会も。
2. プライオリティ NO.1は「財政健全化」。特に人件費削減にとりくみます。
3. 「議長立候補制・議員同士の討論・議員の実績報告」を制度化し、議会改革を進めます。
4. 流山の「知的、文化的、国際的」なイメージを首都圏に浸透させます。
5. 国際姉妹都市を実現し、小学校からの英語教育など特長を持たせます。

もりた洋一(現)

S40年生 加



1. 観光や国際化など、従来とは異なる手法で地域を活性化していきます。
2. 子育て世代、高齢者、若者とそれぞれをターゲットにした施策を提言していきます。
3. 自然保護やマンション管理問題など、行政では従来十分に対応できなかった分野にアプローチしていきます。
4. 民間企業勤務での経験と、この4年間に市民の方から頂いた声を活かし、政策の提案を行っていきます。

小野せつ子(新)

S26年生(薬剤師) 中野久木



1. 社会生活の半分を支える女性の声を議会に届け、みんなが生き生き暮らせる流山市を目指し、システムづくりをします。
2. あなたとともに流山をもう一歩進めます。
(1) 行財政改革を進めて、少子・高齢化社会に対応する市民サービスを拡充します。
(2) 地方分権の時代、自立した元気な流山市実現のため議会改革を進めます。
(3) 女性パワーを市政に、わかちあう社会づくりを進めます。

市長選挙、いざき義治氏(現市長)の続投を!!



「みんなの流山」は次期市長立候補予定者の推薦につき話し合いを行い、全員一致でいざき義治氏を推薦することを決議した。

2期8年間の実績について、以下の二点が特に評価された。

1. 「1円まで生かす市政」をテーマに、徹底した行政改革を進め財政健全化を成し遂げた。7年間に事業費で30億円、人件費で34億8千5百万円、合計64億8千5百万円が削減され、市税に占める人件費の割合は51.9%から39.2%に低下した。その削減分が子育てステーションやぐり〜ん・

バスなどに有効活用された。「市民一人当たり行政コスト」で全国ベスト・ワンとなったことは誇らしい。

西川せいし(新)

S16年生 向小金



1. 市民目線で開かれた議会・市政改革に臨みます。特に、「より効率的な議会運営を目指した議員定数削減」に取り組みます。
2. 行政改革・行政サービスに関する東部地区の住民の思い(疎外感・諦め)を付度して、公平・迅速なサービスを実現します。
3. 事業仕分け、職員削減、アウトソーシングなどの改革を進め、財政改革を進めます。
4. 子どもたちに笑顔を!シニアに安心を!モットーに施策を提言・推進します。

2. 自治基本条例を制定し、まちづくりの基本理念と基本ルールを定めた。今後、どのような人が市長となっても、行政が後退することはない 確固たるまちづくりの基盤がつくられた。関連条例の「市民参加条例」が23年度に制定される予定であり、さらに24年度には市民投票条例が検討されることになっている。他に、「母になるなら流山市」などのお役所が作ったとは思えない、斬新な広告で評判になった前向きな流山市の売り込みも評価された。

議員定数削減・署名活動と陳情の報告

流山市議員定数を考える会 代表 伊東正明

本会議採決の結果報告（敬称略）五十音順

昨年の夏の猛暑の中、4ヶ月にわたる議員定数削減に向けて運動を行い「9,470筆」の署名を得ることができました。ご支援して頂いた皆様にご報告が遅れましたことを深くお詫び申し上げます。この度「みんなの流山」のご厚意により本誌にて報告いたします。

11月12日に、皆様の貴重な署名名簿を添え陳情書を市議会議長宛に提出しました。

12月13日の総務委員会において審議され、その折私が陳情書の主旨説明を行い、短い時間の討論の後採決となり委員5人全員が反対されました。この委員会の議員は、はじめから建設的な議論の意志は少ないと感じました。

12月22日の本会議での討論は、1年半前、議員自らが検討課題とした議員定数削減についての討議をされたか否かの説明もなく、ひたすら削減したくない理由を語るにとどまりました。採決があり、賛成4名、反対22名で不採択となりました。反対した議員の方々は、この一万名に近い署名の重さを微塵にも感じていない様でした。財政の悪化を防ぐために、率先して議員定数削減を考えるべき議員の皆さんは何を考えているのかと、一市民として不安を覚えます。選挙民として今一度候補者を見る目を養わねばと感じ入った次第です。4月の選挙では心して選択したいと思いを新たにしました。

賛成した議員

合計 4名

酒井陸夫、藤井俊行、松田浩三、森田洋一

反対した議員

合計 22名

青野直、秋間高義、乾紳一郎、海老原功一、小田桐仙、坂巻忠志、関口和恵、田中人実、高野とも、田中美恵子、高橋ミツ子、戸部源房、徳増記代子、中川弘、中村好夫、馬場征興、堀勇一、松野豊、松尾澄子、宮田一成、山崎専司、横須賀靖

時代の先端をいく スポーツ界の世代交代

南半球ではテニスのグランドスラムの初戦全豪オープンで日本期待の錦織圭が格上を破り44年ぶりに3回戦進出。卓球の全日本選手権では、男子シングルの水谷準が21歳で5連覇達成。女子では福原愛を準決勝で破った石川佳純が17歳高校生日本チャンピオンの誕生。2月に入るとプロ野球キャンプイン。注目のハンカチ王子斎藤佑樹がデビュー、甲子園での劇的な決勝再試合での優勝から4年、今度はどんなドラマを見せてくれるのか。4月に

は、石川遼がゴルフのグランドスラムの一つであるマスターズに3回目の挑戦。ここにあげたアスリートは全て10代後半から20代前半世代で、彼らはこの若さで日の丸を背負って世界を舞台に活躍しています。日本の政治・経済社会を見渡せば、居座る老人や既得権にしがみついた良識のある大人?が世界どころか日本国内で愛想をつかされています。今年も夢を見させてくれるのは彼らだけなのか?

(2011年1月某日、東初石在住S.A)

うんがいい! 利根運河



利根運河は120年前、市北部に江戸川-利根川を結ぶルートとして造られた。昨年はオランダと日本の皇太子がこられ、「利根運河薪歌舞伎」も開催された。いま、NPO法人が運営する利根運河交流館の「うんがいい!」を合言葉の活動が

注目されている。建設したオランダ人ムルデルの資料展示や第4土曜日の朝市、自然散策のレンタサイクル、写真展、利根運河めぐりツアー、ラジオ体操などの事業を行い、「まちを元気に!楽しく!」している。

まちづくり条例で 流山をもっと魅力的に



流山らしい緑いっぱい、の街にしたい。環境の良いきれいな街並みを作りたいと思っても、それを実現するためのツールが必要です。それが「まちづくり条例」と言われています。たとえば二〜三年前にも大きな工場の跡地がどうなるのか、地域ですいぶん心配する声が上がりました。

ましたが、もし土地の売買が成立する前に近隣と事業主が計画について公開の場で調整する制度があれば、地域の不安は軽減されます。その他、高層建物と低層建物の棲み分けを進める制度、地区のまちづくりを支援する制度、グリーンチェーンを強化する制度などが検

討されています。流山を魅力的な街にする、実効性のある条例になることを望みたいと思います。次回の委員会は以下の通り2月9日(水)午後2時から流山水道局(おたかの森駅下車)※傍聴もできます。市のホームページには議事録と資料もあります。